

平成22年度 消費・安全対策交付金事後評価概要

食の安全・消費者の信頼確保対策推進交付金

目的	目標	事業実施主体	事業実施計画	事業実施実績	交付金相当額(円)	目標値及び実績			県の事後評価		
						目標値	実績	達成度	評価	評価の概要	第三者の意見
1 農畜水産物の安全性の向上	安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進	愛知県	生鮮農産物の安全性確保のため、GAPに関する研修、調査を行い、GAPの普及啓発を図り、高度なGAP実践農家の増加を目指すため、次の事項を実施。 1 GAPの導入・普及 2 GAP指導者の育成・確保	1 GAPの導入・普及 GAP推進検討会 (15回) GAP推進資料の作成 GAP導入の実証展示 (5か所) 2 GAP指導者の育成・確保 GAP研修会 (55回)	882,191	事業実施年度中に増加させる、高度な取組内容を含むGAPの実践農家数 5人	7人	140%	A	各産地において、農産物の安全確保、品質の改善、環境保全、労働安全に対する意識が高まった。	目標を上回る達成度となっており、事業は適切に進められている。農産物の安全性確保を図る上で、高度な取組内容を含むGAP手法は重要であり、一層推進していただきたい。
	農薬の適正使用等の総合的な推進	愛知県	農薬取締法に基づく農薬の適正な販売・使用を推進し、農薬のより一層の安全性を確保するため、農薬使用者及び農薬販売者に対して次の事項を実施。 1 農薬の安全使用の推進 2 農薬の適切な管理及び販売の推進 3 農薬残留確認調査の実施 4 農薬残留確認調査の実施(団体分)	1 農薬の安全使用の推進 農薬安全使用対策講習会 (3回) 農薬危害防止講習会 (1,229回) 啓発用資材の作成・配布 農薬使用実態調査(21件) 2 農薬の適切な管理及び販売の推進 立入検査 (357件) 農薬管理指導士認定研修 (1回) 3 農薬残留確認調査の実施 作物残留試験 (16件) 4 農薬残留確認調査の実施(団体分) 農薬残留モニタリング調査 (3,221件)	44,354,306	農薬の不適切な販売及び使用の発生割合 0.6%	0.6%	100%	A	不適切な販売・使用の発生は減少し、農薬の安全使用、適切な管理、適切な販売の取組の重要性が認識され、着実に普及している。また、農薬残留確認調査により、産地の農薬適正使用を推進する上での指導強化が図られている。	事業の目標を達成しており、適切に実施されている。引き続き、農薬販売・使用において、不適切な事例を減少させるよう取組を強化していただきたい。
	畜産物の安全性の確保	愛知県	畜産農家段階での使用基準が定められている飼料の適正な使用を図り、安全な畜産物の生産を確保するため、飼料安全法令等に関する普及・監視及び指導として次の事項を実施。 1 事業推進会議等の開催 2 巡回指導の実施 3 牛、めん羊、山羊及び鹿用飼料の動物性たんぱく質抽出検査	1 関係機関が連携した指導体制の確立 会議 (1回) 2 飼料安全法令等に関する普及・監視及び指導 巡回指導 (90戸) 3 飼料の安全性監視のための調査分析の実施 動物性たんぱく質検査 (20検体)	83,710	立入検査実施率 7.1%	6.7%	94%	A	目標値には達しなかったが、事業の実施は適切である。	目標は概ね達成されており、事業は適切に実施されている。今後も監視体制を維持されたい。また人的・費用的な面が確保できれば、巡回戸数を増やし、3年ぐらいですべての農家を回るぐらいが理想的である。

目的	目 標	事業実施主体	事業実施計画	事業実施実績	交付金相当額(円)	目標値及び実績			県の事後評価		
						目標値	実 績	達成度	評価	評価の概要	第三者の意見
1 農畜水産物の安全性の向上	水産物の安全性の確保	愛知県	二枚貝の毒性検査を定期的に実施して、貝毒発生の有無を監視することにより、安全な水産物を提供できる状態かを判断し、消費者に安全で信頼のある水産物を提供する。	1 貝毒発生監視調査 (80回)	231,000	貝毒発生監視調査の実施数 80回	80回	100%	A	定期的な貝毒検査により、県民に安全な貝類を提供することができた。	目標は達成されており、適切に実施されている。より消費者の安心が得られるよう、取組の強化を図りたい。
3 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	家畜衛生の推進	愛知県	畜産農家における家畜伝染性疾病の検査の実施、飼養衛生管理の徹底及び慢性疾病対策の指導を行い、家畜伝染性疾病の発生を低減させることにより、農家における安全な畜産物生産の確保を図る。 1 監視体制の整備 2 家畜衛生対策による生産性向上の推進 3 畜産物の安全性向上 4 家畜衛生対策の推進に係る関連機器の整備	1 監視体制の整備 検査 (1,535頭) 調査・指導 (855戸) 2 家畜衛生対策による生産性向上の推進 検討会・講習会 (2回) 調査・指導 (53戸) 全国検討会 (3名) 3 畜産物の安全性向上 調査・指導 (10戸) サルモネラ検査 (1340検体) 薬剤耐性菌 (16検体) 4 家畜衛生対策の推進に係る関連機器の整備 (明視野顕微鏡及び顕微鏡用デジタルカメラ)	11,111,720	家畜の伝染性疾病の発生件数の減少率及び検査件数の増加率をそれぞれ補正し、家畜衛生に係る取組の充実度を算出 103	86.2	84%	A	目標値には達しなかったが、事業の実施は適切であった。	目標は概ね達成されており、事業は適切に実施されている。 家畜の疾病は県民に大きな影響を与えるので、今後も継続してしっかりと実施していくことが重要である。
	家畜衛生の推進 (特別交付型)	愛知県	平成23年1月に愛知県豊橋市の鶏農場1戸、2月に新城市の鶏農場1戸、計2戸で高病原性鳥インフルエンザが発生したため、発生農家の適切な防疫措置及びまん延を防止する対策を実施する。 1 家畜衛生対策による生産性向上の推進	1 家畜衛生対策による生産性向上の推進 まん延防止対策にかかる経費 (発生農場2戸) (移動制限区域内農場53戸)	32,230,537	高病原性鳥インフルエンザのまん延防止 55回	55回	100%	A	事業の実施は適切であり、目標どおりに達成されている。	目標は達成されており、事業は適切に実施されている。 家畜の疾病は県民に大きな影響を与えるので、今後も発生やまん延を防ぐため、迅速に対応してもらいたい。

目的	目 標	事業実施主体	事業実施計画	事業実施実績	交付金相当額(円)	目標値及び実績			県の事後評価		
						目標値	実 績	達成度	評価	評価の概要	第三者の意見
3 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	養殖衛生 管理体制 の整備	愛知県	本県の主要なウナギ、アユ、マス類等の内水面養殖業及び栽培漁業の中核であるクルマエビ、アユの放流用種苗において、養殖生産物の安全性の確保及び伝染性疾患のまん延防止を図るため、次の事項を実施。 1 総合推進会議の開催等 2 養殖衛生管理指導 3 養殖場の調査・監視 4 疾病の発生予防・まん延防止	1 総合推進会議の開催等 全国会議出席等 (1回) 指導会議開催等(4回、54経営体) 2 養殖衛生管理指導 養殖衛生管理指導経営体数 (272経営体) 3 養殖場の調査・監視 医薬品残留検査 (16検体) 4 疾病の発生予防・まん延防止 指導経営体数 (191経営体)	330,000	養殖衛生管理指導を実施した経営体数の養殖等経営体総数に占める割合 79.1%	82.4%	104%	A	事業の実施は適切であり、目標どおりに達成されている。	目標は達成されており、事業内容も適切である。養殖水産物の安全性を確保するため、取組の強化を図られたい。
	病害虫の 防除の推 進	愛知県	多様な防除手段を必要に応じて組み合わせ、効率的・効果的で農薬の環境リスクを低減した病害虫防除を推進するため、次の事項を実施。 1 先進技術を活用した総合的病害虫・雑草管理(IPM)技術体系の確立 2 病害虫防除農薬環境リスク低減技術確立	1 先進技術を活用した総合的病害虫・雑草管理(IPM)技術体系の実証ほ (2作物) 2 病害虫防除農薬環境リスク低減技術確立 マイナー作物農薬登録試験 (19作物) 化学合成農薬を削減した防除体系の検討 (3作物)	1,531,012	農薬環境リスク低減値の現状値からの向上率 187	207	111%	A	IPM及び農薬の環境リスク低減ともに事業は適正に実施され、目標を達成した。	事業目標を達成しており、事業は適切に実施されている。 IPM技術の普及やマイナー作物を始めとする防除方法の改良により農産物や環境に対するリスク低減を進め、安全安心に対する働きかけを推進していただきたい。
	重要病害 虫の特別 防除等	愛知県	我が国が侵入を警戒する病害虫及び新たに発生が見られた病害虫の侵入及びまん延を防止するため、次の事項を実施。 1 重要病害虫侵入警戒調査等の実施	1 重要病害虫侵入警戒調査等の実施 4病害虫 (12か所延べ130回)	71,000	対象病害虫の調査・防除等の総回数 130回	130回	100%	A	事業は適切に推進され、達成度も良好である。	事業は適切に実施されている。 今後も病害虫の侵入防止に取り組んでいただきたい。
総計・総合評価					90,825,426			99%	A		

平成22年度 消費・安全対策交付金事後評価概要

食の安全・消費者の信頼確保対策整備交付金

目的	目 標	事業実施主体	事業実施計画	事業実施実績	交付金相当額(円)	目標値及び実績			県の事後評価		
						目標値	実 績	達成度	評価	評価の概要	第三者の意見
伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	家畜衛生 の推進	愛知県	家畜衛生の推進を図る上で必要な備品整備を行う。 1 クリーンルーム	1 クリーンルーム一式	19,085,000	1 クリーンルーム 検査検体数の増加 増加率39,900%	346,900%	869%	A	適切に施設が整備され、平成21年度及び22年度の目標を達成できた。 また、平成21年2月及び3月に発生した高病原性鳥インフルエンザでは、整備されたクリーンルーム一式により、バイオセーフティレベル2以上の適切な環境下において、ウイルス分離検査が可能であった。	目標は達成されており、事業は適切に実施されている。 高病原性鳥インフルエンザ等疾病の発生時には、事業を有効に使い迅速に対応された。 今後は、家畜の疾病の発生予防に努めていただきたい。
総計・総合評価					19,085,000			869%	A		